

2015年4月22日

報道関係者各位

公益財団法人 三笠保存会
YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

記念艦三笠ユビキタスガイドをリリース

記念艦「三笠」の管理と展覧の運営を実施している**三笠保存会***1（横須賀市稲岡町、会長：増田信行）とユビキタス・コンピューティング技術の基盤研究を推進する**YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所***2（YRPUNL、東京都品川区、所長：坂村健・東京大学教授）は、記念艦三笠ユビキタスガイドを4月22日にリリースします。記念艦三笠ユビキタスガイドは、iOS搭載のiPhone、iPadで動作する無料アプリにより、記念艦三笠艦内の詳しい説明を受けることができるシステムです。

記念艦三笠ユビキタスガイドでは、iOS搭載のiPhone、iPadに必要なアプリをダウンロードすれば、「三笠」艦内の11箇所に設置されたBluetooth LE (Low Energy) 技術を用いたココシルマーカーにより位置検出を行い、付近の展示品の説明を受けることができます。説明は動画による解説を加えており、従来では案内者の詳しい解説を聞かなければ知り得なかった情報がその場で理解できます。さらに、AR (Augmented Reality) 技術による展示品の紹介も可能です。展示されている絵や写真にカメラを向けることで絵や写真に写っている人物の解説を吹き出しで表示します。実際のものを見ながら解説を見ることで従来よりも詳しく展示品を理解することが可能なシステムとなっています。そして、三笠の測量に基づいた3次元モデルに当時の被害状況の写真アーカイブに収められている被弾状況などを表示することができ、当時の戦況を知る事ができます。

YRPUNLは、今後も地域と連携した活動を行っていくなど積極的な活動を継続していく予定です。

記念艦三笠ユビキタスガイドについて

iOS が動作する iPhone ならびに iPad にて利用可能です。アプリをダウンロードいただいたあとは、記念艦三笠の展示品や内容の説明となるため、ぜひ本物の迫力を味わいながらお試してください。

iOS 版 : <https://itunes.apple.com/jp/app/ji-nian-jian-san-li/id983596877?mt=8>



図 1 三笠ユビキタスガイド



図 2 三笠 3 次元モデル (左) AR による展示ガイド (右)

【補足資料】

***1: 三笠保存会について**

<http://www.kinenkan-mikasa.or.jp/>

帝政ロシアによる侵略の危機にさらされた我が国は、挙国一致して日露戦争を戦い抜き、大きな犠牲を払いながらも、ぎりぎりの勝利を得ることができました。

公益財団法人三笠保存会は、国の委託を受け、日露戦争に勝利し独立を守った誇りの象徴として保存された記念艦「三笠」を適切に管理するとともに、展覧態勢の一層の充実を図り、明治の先達の気概と比類のない献身について多くの人々に語り継ぐため、日々努力いたしております。

***2: YRP ユビキタス・ネットワークング研究所について**

<http://www.ubin.jp/>

YRP ユビキタス・ネットワークング研究所は、身の回りのあらゆるモノに、通信能力を有するマイクロコンピュータやセンサ、アクチュエータ等が埋め込まれ、それらが相互に情報交換を行いながら協調動作し、人間生活をより高度にサポートする、ユビキタス・コンピューティング、ならびにモノのインターネットと称される Internet of Things の技術に関する研究開発を推進しています。

なお、本内容は総務省の委託事業である「オープンデータによる G 空間地域プラットフォーム整備事業」の成果の一部を含みます。

ココシルはユーシーテクノロジー株式会社の登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ】

YRP ユビキタス・ネットワークング研究所（担当:小林）

Tel:03-5437-2270

e-mail:press@ubin.jp